

TAMBA NOW+ 2025

2025年1月2日(木)～2月28日(金)

兵庫陶芸美術館では、開館10周年を迎えた2015年から、5年の節目には、丹波立杭や丹波篠山市域で活躍している作家を紹介する「TAMBA NOW+」を開催してきました。2025年には、その第3弾として「TAMBA NOW+ 2025」を開催し、丹波のやきもの今の姿を幅広く紹介します。

東山焼と姫路のやきもの

2025年3月15日(土)～5月25日(日)



東山焼は、文政5年(1822)に現在の兵庫県姫路市東山で操業を始まりました。その後、姫路城下の男山に窯場を移し、青磁や染付を中心に多彩な意匠のやきものを作りました。本展では、東山焼の優品とともに、明治時代に永世舎で作られた色絵の輸出向け磁器や、鷲脚焼などを紹介します。

東山《染付桜川文水指》
江戸時代後期 兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)

テーマ展のご案内

2024年度 著名作家招聘事業 × テーマ展

重松あゆみ展 2025年1月2日(木)～2月28日(金)



「内と外」との関係性や、かたちが生まれる仕組みとその構造を解き明かすという強い衝動に導かれながら、陶による独立した立体造形を追求してきた重松あゆみ(1958-)。

近年、縄文土器に触発され、新境地を拓いている《縄文シリーズ》を中心に、土と炎と現代を結び独自の造形に迫ります。

重松あゆみ《Lunar Flame》2018年 撮影:後藤清

丹波焼の世界 season8



2024年3月9日(土)～12月8日(日)

2017年、丹波焼は日本六古窯の一つとして日本遺産に認定されました。平安時代末期以降、800年以上にわたり時代の求めに応じて変化しながら作り続けられてきた丹波焼の世界をお楽しみ下さい。

丹波《壺》室町時代中期
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財

2025年1月2日(木)から
「丹波焼の世界 season9」が開幕します。

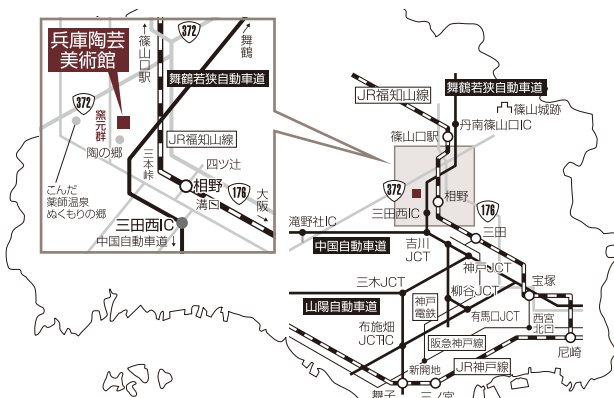
表紙作品
丹波《壺》室町時代中期
兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
兵庫県指定重要有形文化財
Photo: Xavier Martel

美術館ご利用案内

開館時間 午前10時～午後5時
※入館は午後4時30分まで。

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始(12月31日と1月1日)
メンテナンス期間(2024年12月9日～12月30日)

観覧料金 展覧会により異なります。ホームページ等でご確認ください。
(但し、施設への入場は無料)



交通のご案内

【鉄道・バスをご利用の場合】

- JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分)
駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」
または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車
(相野駅からタクシーの便もあります)

【自動車をご利用の場合】

- 舞鶴若狭自動車道・三田西ICから約15分、または丹南篠山ICから約20分
- 中国自動車道・滝野社ICから国道372号を東へ約30分
- 阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分

【駐車場について(無料)】

- 敷地内に58台分(普通車)の駐車スペースをご用意しています。
- 移動が困難な方は、館玄関前に駐車できます。
- 観光バスの受付については、下記の団体受付窓口にご連絡下さい。

【その他】

- 無料貸出有(車椅子4台、ベビーカー2台)



土と語る、森の中の美術館
兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4
TEL 079-597-3961 FAX 079-597-3967
団体受付窓口 TEL・FAX 079-597-3970(16時まで)
E-mail togei@pref.hyogo.lg.jp URL <https://www.mcart.jp>



土と語る、森の中の美術館



兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

展覧会のご案内

Exhibition Guide

2024.4 ▶ 2025.3

特別展のご案内

2024年5月28日(火)から
開館時間が変更となります

2展同時開催 2024年3月16日(土)～5月26日(日)

フィンランド・ガラスアート -輝きと彩りのモダンデザイン-

ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル展 -食べること、共に生きること-



カイ・フランク 《Art-object, unique》 1970年代前半 ヌータルヴィガラス製作所
Collection Kakkonen Photo Rauno Träskelin

1930年代から現代まで、北欧フィンランドを代表するデザイナーや作家たち8名が、「アートグラス」と銘打って制作した芸術性あふれるガラス作品を通して、洗練されたフィンランド・ガラスアートの世界をご紹介します。合わせて、ムーミンの物語から食文化や共生をテーマとする原画や人形を紹介する展覧会も同時開催します。

開館時間:午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

開館時間:午前10時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)

2展同時開催 2024年6月8日(土)～8月25日(日)

受贈記念 高瀬正義コレクション

兵庫のやきもの探訪 -五国の窯場を巡る-



神戸絵付《色絵風景図皿》昭和時代 兵庫陶芸美術館(高瀬正義コレクション)

加西市在住の高瀬正義氏から近代に製作された兵庫のやきものを受贈しました。氏は、昭和34年(1959)に入手した丹波の壺を契機として、以降、県内産のやきものを網羅すべく積極的に作品を収集しました。本展では、氏が愛蔵した三田や瑛平、打出、神戸絵付など、県内各地で作られた多彩なやきものを紹介します。

初代和田桐山 -兵庫が生んだ名工-



初代和田桐山《赤絵鶴鹿図平水指》20世紀前半 兵庫陶芸美術館

大正から昭和にかけて兵庫県尼崎市で活躍した名工・初代和田桐山(1887～1967)。本展では、近年当館が受贈した作品を足がかりに、色鮮やかで美しい色絵や金彩、繊細な線描による絵付けなど、高い技術を持って作られた優品によって、単なる写しにとどまらない、初代桐山の魅力に迫ります。

九谷赤絵の極致 -宮本屋窯と飯田屋八郎右衛門の世界-

2024年9月7日(土)～11月24日(日)



赤絵の細密描写で名高い再興九谷の宮本屋窯(天保3～安政6年)。その存在は、明治以降の輸出九谷の誕生や発展につながりました。主工の飯田屋八郎右衛門は、赤絵細描に優れた手腕を発揮し、この様式は「八郎手」や「飯田屋」と呼ばれています。本展では、今に伝わる宮本屋窯の優品を一堂に会し、その魅力を紹介します。

宮本屋窯《赤絵金彩松図彫形大瓶》江戸時代後期
石川県九谷焼美術館

講座のご案内

陶芸文化講座

特別展に関連したワークショップや陶芸文化の理解を深める多彩な講座等を開催します。作品づくりには講師のサポートもありますので、陶芸初心者の方も安心して参加いただけます。(年5回程度)



※写真は「デミタスカップの絵付けに挑戦!」

県民陶芸大学 電動ロクロ実習

陶芸初心者から上級者まで幅広い方を対象に、丹波焼窯元の直接指導による電動ロクロを使った作陶、施釉や仕上げなど制作の全工程を体験する講座を開催します。(4～9月 複数コースを予定)



技術専門講座

丹波立杭焼伝統工芸士等を講師に迎え、陶芸中・上級者の方を対象にした丹波焼の特殊な陶芸技法や専門的な知識を学べる講座を開催します。(11月～12月頃)



丹波焼最古の登窯関連 陶芸ワークショップ

幅広い方を対象に丹波焼最古の登窯で焼成する作品づくり。美術館での作陶の後、丹波焼窯元の指導のもと、窯詰め、窯焚き、窯出しなどの工程も体験いただける講座を開催します。(登窯の焼成計画に基づき実施します。)



著名作家 招聘事業

国内外で活躍する著名な作家を迎え、若手作家等を対象としたワークショップ等を開催します。かたちが生まれる仕組みとその構造を解き明かすように、陶による独立した立体造形を追求する重松あゆみ氏(1958-)をお迎えします。(1～2月頃)



※写真は「2023年度ワークショップ(講師:竹内祐三氏)」

こんだ学 セミナー

丹波焼を含む陶芸文化や美術館が立地する丹波焼の里の歴史、文化や自然環境などを幅広く学び、その多様な魅力を発信するためのセミナーを開催します。



各講座とも開催の1～2ヶ月前に募集を行いますので、詳細はお問い合わせください。内容スケジュールについては、都合により変更となる場合がありますのでご了承ください。

地域と連携して進める 丹波焼の里ミュージアムの創造

日本遺産に認定された六古窯の一つ丹波焼。800年の伝統と歴史を誇る丹波焼の里に立地する兵庫陶芸美術館では、丹波焼をはじめとする陶芸文化の振興を図るとともに、地元の陶芸家、隣接する「陶の郷」などと連携を図り、丹波焼の里全体が一つのミュージアムとなるような様々な事業を展開しています。



丹波焼の里情報コーナー



丹波焼最古の登窯

- 丹波焼の里情報コーナー(展示棟入口・無料)
- 丹波焼最古の登窯案内
- やきもの里 春ものがたり(ゴールデンウィーク)
- 陶器まつり(10月) ● お茶会(11月) ● いけばなアート展(3月)

学社連携プログラム事業 体験を通して「やきもの」を学ぶ

こどもたちの創造力や発想力を育成支援するため、小・中学校、高等学校及び教育関係機関、ボランティア、丹波焼窯元や陶芸関連施設と連携し展覧会の鑑賞、登窯の見学、作陶体験などを企画提案します。

兵庫陶芸美術館独自のプログラム

- 鑑賞ワークシートを使った展覧会鑑賞
- 丹波焼のDVD鑑賞、やきものクイズなど
- 電動ロクロ実演見学
- 丹波焼最古の登窯見学

他の陶芸関連施設・団体とコラボしたプログラム例

- 作陶、絵付け体験(陶の郷等)

夏休み!1日まるごとこどもの日 7月21日(日)

夏の特別展期間中に、様々な体験やワークショップを用意し、親子で1日美術館を楽しむイベントを開催します。

施設のご案内

● エントランス棟

【1F】インフォメーション
工房 各種講座が実施されます。

【2F】レストラン・展望デッキ

丹波焼の里を一望できるデッキでお食事や喫茶をお楽しみください。



展望デッキ

● 展示棟

5つの展示室があり、特別展やテーマ展など、様々な展示が行なわれます。

● 管理棟

レファレンスルーム
陶芸関係専門図書があります(無料・事前申込要)。
コミュニティギャラリー
芸術文化活動の展示スペースとしてご利用いただけます(無料・事前申込要)。



コミュニティギャラリー

● 研修棟

講演会やイベントが開催されるほか、会議や発表会などにもご利用いただけます。

セミナー室(定員72名)

談話室(定員20名)



セミナー室

区分	セミナー室(161㎡)	談話室(73㎡)
定員	72名(教室型) 移動椅子使用時120名	20名 (最大32名)
使用料	午前 2,400円 午後 3,600円	1,200円 1,900円
利用料	1日 6,000円	3,100円

※入場料金を徴収しない場合等の通常料金(令和6年3月現在)

● 茶室

ご利用を希望される場合は、レストラン 虚空蔵(TEL 079-590-3633)にご連絡ください。